

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	家電量販店（営業統括）	・オリンピックも本番を迎え、より一層デジタルAV機器の需要が拡大する。夏のボーナスは久しぶりに昨年比で上昇に転じ、消費者の購入意欲の高まりが期待される。
		観光名所（職員）	・連休があったため、5月は来客数の変動が大きいですが、昨年の9月から毎月2、3万人程度の来客があるので、今後については明るい展望を持っている。
	やや良くなる	一般小売店〔CD〕（営業担当）	・来客数、買上点数ともに回復傾向がみられる。
		百貨店（営業担当）	・企業のボーナスが前年に比べ増加傾向にあること、オリンピック等の影響で、テレビや家電関連で伸びが期待できる商品も多いことから、今後は良くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・夏物処分、改装前の売りつくしなどに客は大きく反応する。近隣地区の活性化も顕著で、来街者の増加は好影響となる。得意の中元商戦にも突入し、巻き返し材料は多い。
		スーパー（統括）	・客は今まで以上に1つ1つの商品の価格、品質を厳しく見定めており、売上金額としては横ばい状態が続くものの、購買行動には余裕もみられるようになっており、全体の景気は良くなる実感はある。
		コンビニ（経営者）	・来客数は増加しており、基本的に景気は良くなっている。今後も天候に左右されることは免れないが、昨年が冷夏だったこともあり、今年はプラスになると予想される。
		家電量販店（店長）	・オリンピック需要や昨年の冷夏の反動で、今後は映像商品、季節関連商品が好調に推移すると予想される。
		乗用車販売店（営業担当）	・3年前にヒットした車の車検時期を迎えるため、車検売上で台替えを見込んでいる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車種の追加と納車が見込まれる。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・今期は季節商品であるサングラスの出足が良い。買換え需要とともに、1本追加で購入する客も増加しており、今後にも手ごたえを感じる。
		スナック（経営者）	・各企業ともリストラが終了して業績が良くなっており、先行きはやや良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・昨年と比較して、この先の予約状況が比較的良くなっている。
		旅行代理店（支店長）	・世間一般の景況感が上向いており、消費マインドがより活発になってきている。
		タクシー運転手	・タクシー業界では深夜早朝2割増が定着しそうなので、利用客の増加につながりそうである。
		通信会社（営業担当）	・7月にサービス開始予定のデジタルコースに関して、相応の需要が見込まれる。
		ゴルフ練習場（従業員）	・ゴルフコンペ等を行う企業やサークルが増加している。今後そのような客が増え、売上も増加する。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・家庭用ゲームについては、アメリカで開催されたゲーム機のショーで新製品が発表され、注目を集めている。これらのゲーム機が発売されるのは年末以降になるが、市場に与えたインパクトは大きい。 ・アミューズメント施設については、依然として既存店が前年比100%を超える好調を継続している。好調さをけん引するゲームが市場に受け入れられており、この傾向は継続する。
		その他サービス〔語学学校〕（総責任者）	・来客数等に若干の改善がみられるので、3か月後には少し良くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	・連休に来場した客のフォローにより、販売量の増加が見込める。各企業の決算報告や株価回復のニュース等により、金利上昇を予測する客も増加しており、住宅の販売は良くなる。
		変わらない	
商店街（代表者）	・大手企業の業績は良いようだが、その効果が回ってくるまでに半年くらいはかかる。		
一般小売店〔文房具〕（経営者）	・客は100円ショップで足りないものを買いに来ている。回復は困難である。		

一般小売店〔家具〕 （経営者）	・5月に入り、来客数が一段と少なくなっている。購買に結び付くような反応もみられず、非常に難しい状況が続く。	
一般小売店〔鞆・袋物〕 （従業員）	・母の日、父の日等の贈物などの季節イベント商品については、単価が前年より2割程度上昇しており、今後も期待できるが、身の回り品の単価は2割程度低下している。身の回り品の購買意欲が高まらなると、景気回復にはならない。	
百貨店（広報担当）	・婦人ファッションに新しい動きがなく、消費喚起に結び付きにくい。消費の関心が薄型テレビやIT関連商品、旅行などに移りつつあるため、百貨店にとっては今後も厳しい商況が続く。	
百貨店（営業担当）	・5月に夏物の動きが良いことを考えると、夏のジャストシーズン時は売逃しが出ることが予想される。いち早く秋物の売れ筋を見つけ出すことがポイントである。	
百貨店（営業企画担当）	・催し物や特招会を増やしているが、新規顧客も含め、来客数を増加させるのは難しい状況にある。来客数に比例して、売上也厳しい状況が続く。	
スーパー（店長）	・衣料品については、天候が落ち着けば改善すると思われるが、売れ筋商品がない状況で、急に景気が良くなるとは考えていない。食品については改善の余地があるので、現在の客数の2けた増を目指せる。	
スーパー（店長）	・食料品を中心として、総額表示に客が慣れるまで、まだ時間がかかる。また、主力の婦人服が厳しい状況で、今後盛夏物にも大きなトレンド商材がないため、景気が大きく上向くとは思われない。	
スーパー（管理担当）	・来客数が多いとはいえ、販売量が増えるわけではなく、単価は下向きなので、これから夏に向けて景気は変わらない。	
コンビニ（経営者）	・この3か月、来客数は変わっていないが、単価からみて、客があまり買物をしなくなっている。競争相手が増えたこともあるが、今後2、3か月は変わらない。	
コンビニ（経営者）	・消費税総額表示導入後に減少した売上が今後戻るのか、読みきれない。	
衣料品専門店（経営者）	・夏物商戦の出だしは悪くないが、これといったヒット商品がないので、売上が確保できるか心配である。	
家電量販店（店員）	・オリンピック需要で、DVD、薄型テレビの需要が見込まれ、良い状態が継続する。	
乗用車販売店（経営者）	・整備は順調に入っているが、販売は2、3割減少している。大企業では業績が回復しているようであるが、中小企業は今後も伸び悩む。	
一般レストラン（経営者）	・来客数は増加傾向にあるが、周囲の店舗の閉店等があり、予断を許さない状況は変わらない。	
一般レストラン（スタッフ）	・家族連れ等、来客数は若干増加しているものの、客単価はこの数が月変わっておらず、今後も変わらない。売上が増加する見込みはない。	
都市型ホテル（スタッフ）	・先の客室予約があまり伸びていない。	
旅行代理店（従業員）	・販売量は順調に推移しているものの、勢いがなく、今後も大きな変化はない。	
旅行代理店（従業員）	・2、3か月後は夏の旅行シーズンで、通常であれば良くなるが、今年は今ひとつ出足が良くない。	
タクシー運転手	・まだ模様が続く。ガソリンの価格も上昇してきているので、先行き不透明感が一層強まる。	
その他レジャー施設 （経営企画担当）	・夏にはオリンピックに関連した企画などもあり、プロスポーツが全般的に盛り上がると予想しているが、以前ほどの盛り上がり強さは期待できない。	
美容室（経理担当）	・依然として業者の過当競争が激しく、固定客が減少しているため、売上は減少している。ダイレクトメールの結果は出ておらず、今後も厳しいが、現状打開に努力したい。	
設計事務所（所長）	・現状から判断する限り、仕事が具体化するまでにかなり時間がかかると思われ、すぐには良くならない。	
住宅販売会社（経営者）	・以前であれば、大企業の業績回復が住宅購入へと結び付いていたが、最近はそのような兆しもない。今後2、3か月も変わらずに推移する。	
やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・中元商戦での消費マインドの回復を期待したいが、6、7月で大きな増額は見込めない。
	百貨店（営業企画担当）	・母の日については、従来のブラウス等から生花やケーキといった消耗品へと需要が変化し、単価も低下する傾向にあった。今後の父の日やその他の自家需要でも、単価の下落傾向は続く。

		スーパー（経営者）	・3か月後に競合店が出店する予定で、価格競争が予想されるため、当面は厳しい状況となる。
		コンビニ（経営者）	・酒類販売の免許が自由化された上に、大型店が営業延長を行っているため、先行きに明るい見通しが持てない。
		乗用車販売店（総務担当）	・自動車メーカーの不祥事問題の影響が、薄型テレビの影響か、新車の販売がこの数か月間芳しくなく、下期まで状況は好転しないとみている。
		スナック（経営者）	・夏のレジャーやビアガーデンに客をとられる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・披露宴のマイナス分を一般法人宴席でカバーしたいが、そううまくいくとは思えない。レストランは、昼間は婦人客を中心に混み合うが、夜の来客数が料金を下げても伸びず、苦戦が続く。客室はビジネス客を中心に値下げ圧力が強いが、インターネット経由等を活用し、稼働率を上げて売上を確保したい。
		設計事務所（経営者）	・公共の仕事をしているが、指名が非常に少ない。その上競争相手が増加しており、単価割れ、仕事の件数の減少から、先がみえない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・下町の中小企業の工業関係は、やや良くなっているように聞いているが、商業部門についてはすべてマイナスの傾向にあり、回復が見込めない。
		乗用車販売店（販売担当）	・首都圏の排ガス規制が今年3月に一段落し、その反動でトラックが全く売れない。今後も、環境規制がはじまる平成17年までは、悪いままの横ばいが減少する。
		美容室（経営者）	・周辺にディスカウント店ができて、価格破壊が進む。
企業 動向 関連	良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・見積を出して回答が延期されていた仕事は、着々と実現する運びとなっており、半年後くらいまで仕事の消化に追われそうである。
	やや良くなる	金属製品製造業（経営者）	・新しい仕事の量が少しずつ増加している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・秋にかけて、良い内容の受注内示を客からもらっている。
		金融業（渉外担当）	・最近法人、個人ともに投資目的で不動産を購入しようとする動きが出始めており、今後期待できる。
		金融業（審査担当）	・倒産件数が昨年よりも減少しており、企業業績も回復しつつある。
		不動産業（従業員）	・土地価格の下げ止まりが感じられる。
		広告代理店（営業担当）	・今後も取引先の好調が見込めるため、それに伴う宣伝広告費の増加にも期待できる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・具体的なシステム更改に向けた提案の依頼が多くきている。今まで予算がつかなかったために更改を待っていた案件について、今年度予算がつき、システム更改の準備を開始した仕事が多くある。
	変わらない	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・電子部品、携帯部品等の一部の仕事は動いているようだが、他の仕事はデジタル化の影響で小ロットになったり、全くなかったりしている。大きなロットの仕事は海外に流出してしまい、国内は空洞化している。Tシャツ等の季節商品も今年はぱっとせず、今後も改善は見込みにくい。
		化学工業（従業員）	・生産数量の計画に変更はなく、現状と同じであると予想される。
電気機械器具製造業（経営者）		・業界に新しい動きがない。	
その他製造業〔靴〕（経営者）		・資金力と企画力のあるところでない、この業界では先行きの見通しが立たない。	
建設業（経理担当）		・例年この時期には、公共工事が徐々に出てくるが、今年は発注が少ない。民間工事案件についても、戸建て住宅以外は厳しい状態がまだ続きそうである。	
輸送業（総務担当）		・荷主がどこまで理解しているかによるが、下請法の改正により、今後は価格面において多少良い方向に展開していくのではないかと期待している。	
通信業（営業担当）		・割引サービスの契約は増加しているが、自社の増収につながる契約は横ばいである。	
不動産業（総務担当）		・この2か月間、新規テナントの引き合いがほとんどなく、今後2、3か月先の状況も改善されるとは思えない。退去テナントが出ていないことがせめてもの救いである。	
		広告代理店（従業員）	・周年記念誌の発行などの特別要因があったため、5月は売上が増加したが、定期的に受注している仕事に目立った増加はみられず、今後の業況も変わらない。

	やや悪くなる	繊維工業（経営者）	・春夏物は受注量が多かったが、秋冬物は少ない。中国からの輸入に押されがちであり、今後3か月、秋冬物は厳しい。
		金属製品製造業（経営者）	・取引先からの受注量は減少傾向である。値下げ要請にも応じなければならず、この先収益は悪くなりそうである。
		輸送業（総務担当）	・当社の得意先の荷物は公共事業関係製品のため、今年前半の早い時期より自治体から発注がないと、当社の状況も厳しくなる。得意先からの情報では、受注は増えそうにないとのこと、この厳しい状況は当分続く。
	悪くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・大手自動車メーカーのリコール問題の影響が既に出ており、今後仕事量が増加するとは思えない。
雇用関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	・病院関係の派遣に動きが出てきている。医療業界の紹介予定派遣を使って、今後人を採用しようと考えているところが少なからずあるので、景気は良くなる。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・特定業種や職種に偏ることなく求人数が増えており、全業種にわたり採用状況が好調であることから、景気の底堅さを感じる。雇用形態でみても、社員、アルバイト、パートも増加傾向にある。
やや良くなる		人材派遣会社（社員）	・派遣社員を利用したことのない企業が、新たに派遣社員の起用を考え始めている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・募集人員を急きょ増やす企業が現れている。留学生採用にも注目が集まり始めている。
		求人情報誌製作会社（編集担当）	・駅近隣の既存大型店と専門店街が夏に相次いで大規模リニューアルを予定しており、これに伴い、新規テナントなどから地元求人が見込める。周辺での新規開店も増加し始めている。
		職業安定所（職員）	・年明け以降、新規求人数は、前年同時期比約2割増で推移してきており、様々な業種の企業採用担当者からの聴き取りでも、求人減に結び付くようなマイナス要因は見当たらない。
		民間職業紹介機関（経営者）	・管理系職種は充足感が出てくるが、事業を推進する営業系やIT系職種の求人はまだ伸びる。
		学校〔専門学校〕（教務担当）	・優秀な学生であれば、積極的に採用したいという企業が増加している。企業から厳しいという声あまり聞かれなくなっている。
変わらない		人材派遣会社（支店長）	・派遣法改正などで問い合わせが増加しているが、まだ受注に至らないケースが多く、様子をつかっている企業が多い。
		職業安定所（職員）	・製造業においては、例年は今が求人数の最も多い時期にあたるが、現状で前年を下回っているため、今後製造業の求人が増加すると思われない。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-